

## チェックペン学習法① チェックペンを使ってみよう

授業や試験で役立つスキルをいろいろ学んできたメソッドタイムですが、そろそろ後半です。ここからは、皆さんの理解力を高めるスキルと、自分で工夫して学習するためのスキルを中心に学んでいきます。思考力を使う課題も多くなるので、しっかり取り組みましょう。

徳川家康は、  
1600年 関ヶ原  
の戦いに勝ち、  
1603年 江戸  
幕府を開いた。



さて、その最初は、**チェックペン学習法**です。**チェックペン**は、教科書に塗るだけで、自分で穴埋め問題を作って、学習を進めていけるツールです。既に使っている人も多いかもかもしれません。

このチェックペンを活用した学習方法を、基本のやり方から、さまざまな科目での応用編まで、4回に渡って学習する予定です。

※「チェックペン」は、文具メーカーゼブラの登録商標です。

### ◆チェックセットの確認

教材のセットには、以下の3つのものが入っています。袋をあけて確認してみましょう。

- ・チェックペン（赤）
- ・チェック消しペン（白）
- ・チェックシート（緑）

### ◆ワーク1 チェックペンを使ってみよう

次の文の太字の部分をマークして、緑のシートをかぶせ、文字が見えなくなることを確かめてみよう。1回だけ、スッと塗るのがコツです。何度も塗り重ねないこと。

#### 【基本課題】漢字入門1（国語の授業から）



##### 1) 漢字の特徴

かな、アルファベットなどは、「**表音文字**」と呼ばれ、**発音**だけを表すが、漢字は、1つ1つの文字が**意味**を持つ「**表意文字**」である点に特徴がある。

### ◆ワーク2 チェックペンで憶えてみよう

では、実際に、チェックペンを使った学習をやってみましょう。

上の【基本課題】の文章をよく読んで理解しながら、マークした部分を緑のシートで隠して言えるかどうかやってみよう。あとで、この内容をテストするので、しっかり憶えよう。



◆「記憶のスキル」を生かす

チェックペンで憶えるときも、メソッド7~9で習った「記憶のスキル」が大切です。憶えていますか。

## 記憶のスキル

- 1、声に出して憶える。
- 2、紙に書いて憶える。
- 3、意味を考えて憶える。
- 4、憶えたかどうか、答を隠して試してみる。
- 5、できないものを重点的に練習する。



＜記憶のスキルを生かすチェックペン学習の進め方＞

**1、2** →チェックペンで塗ったところをくり返し、声に出し、紙に書いて憶えます。

**3** →「意味を考えて憶える」ために重要なのは、マークした部分だけではなく、**全体をくり返し読む**ことです。

チェックペンで隠した答を、場所で憶えているだけなのに、わかったつもりでいると危険です。理解しなければ記憶には残らないので、場所で答がわかっても、**必ず全体を読み、全体の中で意味を考えながら、答を言っていく**ことです。

また、全体をくり返し読むことで、マークしていない部分も自然と頭に入ります。



**4** → 実は、チェックペンは、「**憶えたかどうか答を隠して試してみる**」という作業が手軽にできるツールなのです。答がパッと頭に浮かんでくると、楽しくなってきます。

**5** → 「できないものを重点的に練習する」ためには、なかなか憶えられない部分の上に**鉛筆で○印をつけておき、できるまで何度もくり返す**といいでしょう。

◆**ワーク3** 記憶のスキルを意識して、チェックペン学習をくり返そう

記憶のスキルを意識して実行しながら、さらに学習を続けます。

- ① 前ページの漢字入門1を、さらに完全に理解できるように、くり返し学習しよう。
- ② 余裕のある人は、次に示す発展課題も、太字の部分を学習しよう。  
ふりがなのついていいるところは、ふりがなだけ塗って、読み方を憶えよう。

**【発展課題】漢字入門2** (国語の授業から)

2) 漢字の成り立ち

漢字のできかたには、次の4つがある。

- ①象形： しょうけい **もの**の形からできた字。山、目など。
- ②指事： しじ 形にしにくい**意味**を**記号的**に表してできた字。上、本など。
- ③会意： かいい 2つ以上の漢字を**意味**で組み合わせてできた字。鳴、明など。
- ④形声： けいせい **意味**を表す部分と おん **音**を表す部分の組合せでできた字。  
たとえば、晴、清は同じ音。

1字ずつ塗って、点は残す(■、■など)。点も塗ってしまうと、答がいくつあるかわからなくなる

ふりがなをマークする場合は、ペン先を横に寝かせて縦に引く



もしくは、細い方のペンで引く。

◆ **ワーク4** 学習の成果を確認しよう

では、前のワークシートや練習で書いた紙は見えないようにして、次の問題に取り組んでみます。基本課題だけか、発展課題までか、自分が学習した範囲の問題に答えればよい。

**1) 基本問題**

次の ( ) 内に、もっとも適切な語句を、正しい漢字を使って書きなさい。

○漢字の特徴

かな、アルファベットなどは、( )文字で、( )だけを表す。

漢字は、( )文字で、1つ1つの文字が( )を持つ。

**2) 発展問題**

下の漢字の成り立ちをまとめた表を見て、( )内にふさわしい語句を書きなさい。

名称	成り立ちの説明	漢字の例
①象形	ものの( )からできた。	( )( )
②指事	形にしにくい意味を、( )的に表した。	( )( )
③会意	2つ以上の漢字を( )で組合せた。	( )( )
④形声	( )を表す字と、意味を表す字の組合せ	( )( )

どうでしたか。チェックペンでしっかり憶えた後、問題を解くと、おもしろいように答が書けます。それが実感できたでしょうか。



このように、チェックペンで教科書を憶え、すぐ問題をやってみる、という流れで学習すると、達成感があって効果的です。

もちろん、「エビングハウスの忘却曲線」(メソッド9)で学んだように、記憶はまた薄れていきますが、チェックペンで塗ってあれば、あとでまた緑のシートを被せて、くり返し復習ができます。

次回も、チェックペンを使った効果的な学習法を学んでいきます。



◆ **ふり返り**

1) 今日の学習について あてはまるところに○をつけよう

	はい	ややはい	どちらとも	ややいいえ	いいえ
(1) 今日の学習内容は、よく理解できましたか。	5	4	3	2	1
(2) 今日の学習で、新しい発見がありましたか。	5	4	3	2	1
(3) 今日学んだことを、ふだんの学習で活用したいですか	5	4	3	2	1

2) 今日学んだことは、どんなふうに使えそうですか。授業の感想も書いておこう。

.....

.....

.....